

若手病理医の会のあゆみ(関連の深い病理学校および支部 TF、支部 HP と併せて)

2011(H23)年

5月

- 橋本洋前支部長の立案により、林透 業務委員会委員長が「新人病理医の連絡協議会」の骨子を発表(321回スライドコンファレンス、2011.5.14、九州大学)、各県世話人の顔合わせを企画。
- 河野真司ホームページ委員長による支部ホームページの刷新とホームページ委員会の立ち上げ

10月

- 第一回、秋の病理学校開催(10/1-2、中村学園セミナーハウスほくさん、校長:橋本洋、教頭:河野真司)

2012(H24)年

5月

- 林透 業務委員会委員長の呼びかけで各大学の世話人(初期世話人:福岡大学;山田梢、九州大学;古賀裕、産業医科大学;松山篤二、久留米大学;近藤礼一郎、佐賀大学;甲斐敬太、長崎大学;林洋子、大分大学;近藤能行、熊本大学;安里嗣晴、鹿児島大学;平木翼、宮崎大学;鮫島直樹、琉球大学;玉城智子)が集い、第1回の世話人会を開催。林透業務委員会委員長を会長として、会の名称、在り方、活動内容を検討(327回スラコン、5/12、九州大学)。
- 世話人名簿および世話人用のメーリングリストの作成。メーリングリストを介して議論を継続。
- 横山繁生支部長による「九州・沖縄支部ティーチングファイル」構想の提案

6月

- 会員全体名簿および会員全体のメーリングリストの作成(若手育成委員、河野真司先生のご発案による)。項目は、氏名、勤務先、卒業年、病理専門医資格有無、細胞診専門医資格有無、メールアドレス。この時点で会員資格の規定はなし。初期構成;世話人11名、会員77名。

7月

- 第2回、初夏の病理学校開催(6/30-7/1、九州地区国立大学 九重共同研修所、校長:横山繁生、教頭:丸塚浩助)
- 第2回世話人会を開催(328回スラコン、7/7、熊本医療センター)。会の名称を「九州・沖縄 若手病理医の会」に決定。会員資格を「専門医取得後5年まで(世話人を除く)」と決定(横山支部長のご提案による)。
- 若手病理医の会を通じて、スラコン懇親会への若手の参加よびかけを開始
- 病理専門医試験問題過去10年分+専門医受験要項をまとめたリスト(西田・荒金リスト)を元に、河野真司先生の指揮のもと、九州・沖縄支部ティーチングファイルの分担作成開始。

9月

- 産業医大松山先生による、会員全員を対象としたアンケートの実地(会の在り方や、活動内容について)(329回スラコン、9/22、福大メディカルホール)
- 第3回世話人会を開催。若手病理医の会主催の診断講習会の企画。懇親会についての議論の開始。

11月

- がん診療連携拠点病院機能強化事業(病理医養成事業)主催・病理学会九州沖縄支部・若手病理医の会後援、「初心者への為の病理診断講習会」の開催。演題:「子宮頸部生検の病理診断;細胞診とのコラボレーション」、演者:林透先生。講習会後のポストアンケートの実地(330回スラコン、11/17、佐賀大学医学部 臨床大講堂)

2013年(H25)年

1月

- 支部 TF 運用開始(331回スラコン、1/26、産業医科大学ラマツィーニホール)
- (2013年)第1回世話人会(通算4回)開催。全体懇親会がない(支部総会のある)、5月の九州大学開催のスラコンに併せて、若手病理医の会の懇親会を開催することを決定。若手病理医の会の名簿を毎年更新することを決定。その際に会員資格を徹底(専門医取得後6年目以上の病理医と、病理専門医

取得意志のない大学院生を除外)することに。

4月

- 若手病理医の会の名簿更新。会員数 84 名。代表者 11 名。新規加入者 15 名、2012 年専門医取得 5 名。病理専門医取得年の追加。世話人交替:山田梢→林博之(福岡大学)、近藤礼一郎→内藤嘉紀(久留米大学)、平木翼→東美智代(鹿児島大学)

5月

- 333 回スラコン/九州沖縄支部総会、5/11、九州大学百年講堂
- 第 1 回若手病理医の会総会(懇親会)開催。場所:海山邸 KAIZANTEI 博多 ARK 店。参加人数 40 人。アンケート(そもそもこの会は必要か?活動内容の希望など)の実施。

7月

- 第 2 回世話人会(通算 5 回)開催。2014 年 1 月に第 2 回目の診断講習会を開催することを決定。世話人および運営を次世代に引き次ぐことについて検討。世話人補佐を世話人会に加え、世代交代の準備を進めることに(334 回スラコン、7/13、久留米大学筑水会館)。

10月

- 第 3 回、秋の病理学校開催(10/26-27、オーシャンパレスホテルリゾート、校長:横山繁生、教頭:中島正洋)

11月

- 第 3 回世話人会(通算 6 回)開催。若手世話人補佐 7 名:山田裕一(九州大学)、三好寛明(久留米大学)、澁谷亮(産業医科大学)、山本美保子(佐賀大学)、荒金茂樹(大分大学)、平木翼(鹿児島大学)、中村恵理子(宮崎大学)の顔合わせ(336 回スラコン、11/9、熊本市医師会館)。

2014 年

1月

- がん診療連携拠点病院機能強化事業(病理医養成事業)主催・病理学会九州沖縄支部・若手病理医の会後援、「初心者への為の病理診断講習会 第二回」の開催。演題:「子宮頸部生検の病理診断;細胞診とのコラボレーション II, 腺系病変について」、演者:林透先生(337 回スラコン、1/25、鹿児島大学医学部 鶴陵会館)

3月

- (2014 年)第 1 回世話人会(通算 7 回)開催。メールシステムの変更(Yahoo から Google へ)についての検討。メールリスト管理および名簿作成業務担当を甲斐敬太(佐賀大学)から黒濱大和(長崎医療センター)に変更。5 月に 2 回目の全体懇親会を行うことを決定。名称を八雛会(はっすうかい)に決定。通称はハッスル会に。世話人会の名称を代表者会に変更。世話人会の進行・議事録管理を甲斐敬太(佐賀大学)から内藤嘉紀(久留米大学)に変更(338 回スラコン、3/15、長崎大学医学部 良順会館)

4月

- 2014 年度会員名簿更新。会員数 91 名。代表者 11 名。代表者補佐 6 名。新規加入者 10 名、2013 年専門医取得 7 名。世話人交替:松山篤二→澁谷亮(産業医大)、東美智代→平木翼

5月

- 新メールリストの完成(Google グループ、代表者用と一般会員用を一本化)
- 339 回スラコン/九州沖縄支部総会、5/10、九州大学百年講堂。業務委員長が林透先生から木佐貫篤先生に交替。それに伴って、若手病理医の会会長も林透先生から木佐貫篤先生に交替。
- 第 2 回、八雛会(ハッスル会)開催。場所:海鮮料理屋兼平鮮魚店。参加者 40 名。新人の自己紹介、林透先生の会長退任挨拶、東美智代先生(鹿児島大学)および松山篤二先生の若手病理医の会卒業の挨拶などが行われた。

6月

- メールリストを介して、各大学で使用している教科書の実態調査および病理解剖の実態調査が行われた。

7月

- (2014 年)第 2 回世話人会(通算 8 回)開催。受け身な講習会ではなく、支部ティーチングファイル(TF)を用いて、自律的に勉強会を行う事が議論され、次回のスラコンで TF を用いた勉強会を開催すること

を決定。勉強会の司会を行う担当者は、世話人の病理専門医で持ち回ることとなった(340回スラコン、7/19、北九州国際会議場)。

9月

- 第1回、支部ティーチングファイル(TF)を用いた勉強会(婦人科領域)の開催。担当:甲斐敬太(佐賀大学)(341回スラコン、9/6、福岡赤十字病院)。

10月

- 第4回、秋の病理学校開催(10/25-26、日本文理大学湯布院研修所、校長:横山繁生、教頭:駄阿勉)

11月

- (2014年)第2回世話人会(通算9回)開催予定(342回スラコン、11/15、グランプラザ中津ホテル)。